

寸言

HIREC株式会社
代表取締役社長
上森 規光



「宇宙用部品・コンポーネント技術および高信頼性技術」のリーディングカンパニーとして

本年6月にHIREC株式会社の代表取締役・社長に就任致しました上森規光です。以下、宇宙に関わる当社事業と今後のチャレンジについて紹介させていただきます。

当社は、宇宙用部品の信頼性確保、製造・調達技術の向上、安定供給を事業目的として、我が国の宇宙関係企業36社の出資により1988年10月に設立されました。以来、JAXA様をはじめ宇宙関連企業の皆様の多岐にわたる宇宙機や実験装置に対し、部品供給、信頼性・品質保証活動に参画させて戴き、それら宇宙機のミッション成功に携わらせて戴いております。また本年7月よりJAXA認定部品に関する認証代行機関としての活動を開始いたしました。これまでの当社に対する皆さまの日頃のご理解とご支援に心から感謝申し上げます。

一方で宇宙事業を取り巻く環境変化に対応すべく、当社は大きな転換期を迎えていると認識しております。近年、我が国の安全保障や災害対策・国土強靱化等に対して宇宙開発利用の重要性が益々高まり、また国際宇宙探査やデブリ除去ミッションなど新たな領域への拡大により、政府宇宙関係予算が拡大してきております。更に、New Space企業の存在感が大きくなってきているとともに、小型衛星によるメガコンステレーションなど新たなミッションが議論されております。DX（デジタルトランスフォーメーション）やAI（人工知能）、AM（材料積層技術／3Dプリンター）など新たな技術の活用も検討されており、宇宙開発利用の状況は大きく変化していると認識しております。

この環境変化の中で、宇宙用部品や高信頼

性技術に関するニーズも変化してきております。特に、New Space企業対応では、投資効果を最大化し、安価かつタイムリーに必要な信頼性技術を適用するというニーズが高まってきており、また、海外に目を向けてみると、欧州ではメガコンステレーション向け用途の低コスト要求に対応できる部品提供会社が既に現れており、わが社としては対応が遅れてしまったと認識せざるを得ません。我が国の宇宙開発利用にかかる競争力確保や経済安全保障の観点からも、宇宙用部品・コンポーネントに関する新たなサプライチェーンの議論が急務であると認識しております。

当社は、従来型の高信頼性・品質保証やJAXA認定部品の安定供給に寄与してまいりましたが、今後は、この経験を発展させ、新たな環境・新たなニーズに応えるようなチャレンジを行います。一例として、欧州で適用されている現実的な信頼性解析手法による解析サービスの提供や、JAXA認定部品より安価かつ丁度良い信頼性レベルの部品・コンポーネントの提供・コンサルタントサービスを準備中です。そして、社名「HIREC」に込められたHigh Reliability Engineering & Components：「高信頼性技術および宇宙用部品・コンポーネント技術」のリーディングカンパニーとして、顧客プロジェクトの成功を通して、我が国の技術基盤の向上、豊かで安全・安心な社会の実現に貢献する所存です。

今後とも、当社事業推進にあたり日本航空宇宙工業会をはじめ関係各位からのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。